

新たな交通環境実現に向けた ロードマップ

第4回 沖縄の新たな交通環境創造会議

| 課題 | プロジェクト一覧 ※主要プロジェクトには「○」 | |
|------------------------------------|--|--|
| | 取り組み内容 | |
| 幹線道路ネットワーク整備 | (1) 2環状7放射、ハシゴ道路等幹線道路網の整備 (2) MICE施設、クルーズターミナル等整備に対応したアクセス環境の整備 | |
| 渋滞ボトルネック対策 | (3) 渋滞ボトルネック箇所での交差点改良、立体化 (4) 幸地インターチェンジの整備の推進及び沖縄市池武当・北中城村喜舎場等のインターチェンジの整備の検討 | |
| 沖縄自動車道の有効活用 | (5) ETC(ETC2.0)の普及、利用促進 (6) 高速道路の利用促進に向けた割引制度の継続・拡充の検討 | |
| 物流の分散化 | 7 中城湾港の活用を図り、那覇港との適切な機能分担の推進 8 物流センターの整備 | |
| ビッグデータを活用した分析及び対策 | 9 ETC2.0 やOKICA カード等のビッグデータを活用した道路渋滞の分析及び対策 | |
| モノレールの運用効率化 | (10) 運行間隔の短縮(増便)などの混雑対策の推進、車両数増加の検討 | |
| 基幹バスの導入、バス網再編 | (11) 那覇市・浦添市・宜野湾市・沖縄市・北中城村地域公共交通総合連携計画に基づく基幹バス(BRT等)の導入に向けたバス網再編 (12) 県民及び観光客にとって使いやすくわかりやすいバス待ち環境の改善や、バス網再編の検討 (13) 自動運転技術を活用したバス交通(基幹バス、コミュニティバス等)の活性化を図るための社会実験の実施 (14) 浦添北道路・臨港道路浦添線開通にあわせた、バスレーンの延長の検討 | |
| バス運行定時性の確保 | (15) 都市圏におけるLRTの導入可能性の検討 (16) 与那原、南風原バイパスの供用に併せたリバーシブルレーン延長の検討 | |
| コミュニティバスの活用 | (17) モノレール、基幹バスの結節点における二次交通の整備 (18) 公共交通不便地域へのコミュニティバス、デマンドバス等導入 | |
| バスターミナル等の整備 | (19) モノレール結節点(那覇バスターミナル、てだこ浦西駅等)の整備 (20) 基幹バス結節点(コザ等)の整備に向けた検討 (21) 商業施設等を活用した交通結節機能創出の検討 | |
| 各地域の結節点の創出に向けた戦略的な展開 | (22) P&R(パーク・アンド・ライド)用駐車場やレンタカー活用できる結節点の整備 (23) まちの拠点(公共・公益施設)において路線バス等を利用出来るような結節点機能創出の検討 (24) 県民の自家用車から公共交通への転換を促すようなインセンティブ等(料金体系から企業の通勤手当まで)の検討 (25) 結節点への商店の誘致等にぎわいの創出の検討 | |
| 高速バス停の整備 | 26 P&R用駐車場、レンタカー活用拠点及び高速バスを利用しやすい環境整備に向けた検討 | |
| 道路空間の再編(国際通り) | (27) 国際通りのトランジットモールの新たな展開、フリンジパーキングの整備、荷さばき車両、違法駐車対策の検討 (28) 自転車走行環境の整備 | |
| 自転車利用の促進 | (29) コミュニティサイクル(レンタサイクル、シェアサイクル)の導入 (30) 企業等における自転車利用環境の整備 | |
| 無電柱化 | 31 自転車や歩行者に快適で安全な通行空間の確保、観光地にふさわしい良好な景観の形成や道路の防災性の向上の観点からの無電柱化 | |
| 利用者向けの利便性向上策 | 32 バスロケーションシステム改良、整備(バス停での表示、スマートフォン用アプリ改善)の推進 33 バスベイの改良及びバス停上屋の整備等、バス待ち環境の改善 | |
| ユニバーサルデザインの導入等 | 34 高齢者等の公共交通を利用した外出を促すためのユニバーサルデザインを取り入れた施設整備の推進 (35) 空港やその他の交通結節点における、移動支援(訪日外国人を含む観光客への情報提供等)の導入に向けた取組 | |
| 公共交通利用促進への活用 | 36 フェリーやコミュニティバス、タクシー等多様な交通機関での利用 (37) モノレール及び路線バスにおける乗り継ぎ割引、時間帯割引、全国共通ICカード利用等の公共交通利用のインセンティブを高める仕組みの拡充の検討 | |
| 地域の活性化への活用 | 38 買物でのポイント活用、社員証・学生証との相互利用など地域活性化への活用の検討 39 外国人にもわかりやすい案内標識整備 | |
| 来訪者向けの自動車利用環境の整備 | (40) てだこ浦西駅等交通結節点の有効活用 (41) 外国人が運転するレンタカーの交通事故増加を踏まえたETC2.0等のビッグデータによる外国人の運転特性分析、道路渋滞対策・交通安全対策の実施に向けた取組 (42) 駐車場満空情報のカーナビへの提供 | |
| 人の移動支援 | 43 観光地や観光地周辺での案内標識の整備 (44) Wi-Fi利用環境の整備、活用 (45) 観光客向けの路線バスの分かりやすい利用方法、活用方策の情報提供 | |
| 結節点における観光客向けのサポートサービスや情報発信機能の強化 | 46 那覇バスターミナル等の結節点等における、外国人を含む観光客向けのサポートサービスの提供(例えば「手ぶら観光」の推進)や情報発信機能の強化 | |
| 那覇空港国際線旅客ターミナルと国内線旅客ターミナルの移動利便性の向上 | 47 那覇空港の国際線と国内線の旅客ターミナル間の移動について歩行空間の連続性の確保やバス・タクシーへの乗り継ぎ利便性の改善の取組 | |
| クルーズ船の観光客の渋滞対策 | (48) クルーズターミナルから観光地にかけての標識案内設置等による歩行動線整備の検討 (49) クルーズ船来港に伴う渋滞対策 | |
| 県民意識への効果的な働きかけ | (50) 県民の意識に働きかける取組み(わったーバス党の活用、MM等) (51) 民間企業の取組み支援(わったーバス党の活用等) (52) 協力企業の取組みに対する表彰制度の創出の検討 | |
| 時空間的な需要分散、平準化(TDM) | (53) 国、県、市町村、民間企業への時差出勤の導入 (54) バス専用レーンのHOV運用の検討 | |
| 道路整備やまちづくり計画と連携した公共交通網の再編 | 55 各市町村において中長期的な道路ネットワーク整備やコンパクトなまちづくりと連携して、各地域の居住者が自家用車のみに依存せず、公共交通を利用して広域に移動することが可能となるような公共交通ネットワークの見直し、再整備 56 その際、行政界及びその付近において公共交通における利便性が低下しない広域的な調整・連携 | |
| 災害への対応 | 57 観光客への災害情報提供、誘導情報提供の検討 58 大規模災害時における道路啓開計画の策定 59 沖縄の災害特性に応じた道路・港湾等の交通施設及び物流施設の耐災害性の向上対策 | |
| 観光地にふさわしい景観形成 | 60 空港周辺、観光地への誘導ルートの景観形成、緑化 | |
| 生活道路の交通安全対策 | (61) 生活道路の交通安全対策 62 幼稚園・小学校世代からの自転車や公共交通機関の利用方法等の交通安全等教育 | |

新たな交通環境実現に向けたロードマップ

| 課題 | プロジェクト一覧 ※主要プロジェクトには○ | 【関連委員会】 実施主体(○:主、○:副) | H28時点 現況 | H29 | H30 | | H31(R1) | | R2~ | 備考 | |
|-------------------|---|--|----------------------------------|--|--|---|--|---|-----|----|--|
| | | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | |
| 主要な事業の完成予定 | | | | | ●浦添北道路・臨港道路浦添線供用(平成30年3月18日供用) ●那覇バスターミナル開業(平成30年10月1日開業) ●南風原BP供用(平成31年3月21日供用) ●那覇港総合物流センター供用(令和1年5月1日供用) ●モノレール延長部供用(令和1年10月予定) ●空港第2滑走路供用(令和2年3月末予定) ●本部港国際旅客船拠点化(令和2年度末完成予定) | | | | | | |
| 幹線道路ネットワーク整備 | ① 2環状7放射、ハシゴ道路等幹線道路網の整備 | 【渋滞協】 ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄県 土木建築部 | | | 幹線道路網の整備(小禄道路、南部東道路等) ネットワーク強化に向けた検討 ●浦添北道路・臨港道路浦添線供用 ●南風原BP供用(平成31年3月21日供用) | | | | | | |
| | ② MICE施設、クルーズターミナル等整備に対応したアクセス環境の整備 | 【渋滞協】 ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄県 土木建築部 | H26.4那覇クルーズターミナル供用 | | ●H29西原道路計画段階評価着手 南風原BP、与那原BPの整備 浦添西原線の整備 ●南風原BP供用(平成31年3月21日供用) | | | | | | |
| 渋滞ボトルネック対策 | ③ 渋滞ボトルネック箇所での交差点改良、立体化 | 【渋滞協】 ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄県 土木建築部 ○関係市町村 | 対応済 国:仲泊、上間、我如古 県:安次嶺ほか5箇所 | | 対策済み 国:伊差川(北)、世富慶、無名(宜野湾海浜公園入り口)、 瀬長、県等:真玉橋(南)、旭橋、城間、若狭、無名(長田小近く) ※国施工中2箇所、県施工中6箇所 H30実施箇所 国:赤嶺 県:城十字路、美里、新川、名嘉地(北)、 無名(芸大首里崎山キンババ近く)、鳥堀、古島(西)、牧港、泡瀬、沖縄南IC、長田、無名(サンエー泡瀬衣料館前)、安里一丁目、 山下(南) 事業化検討推進 国:明治橋、赤嶺、県:名嘉地(北)ほか7箇所 | 対策済み 国:仲井真、嘉数、瑞慶 県:無名(サンエー泡瀬衣料館前)、牧港、 古島(西)、鳥堀、 無名(芸大首里崎山キンババ近く) ※国施工中2箇所、県施工中6箇所 R1実施予定箇所 国:赤嶺 県:城十字路、美里、新川、名嘉地(北)、 無名(高原2丁目) 無明(山城石油前)、松川、寄宮 R2実施予定箇所 国:明治橋 | | | | | |
| 沖縄自動車道の有効活用 | ④ 幸地インターチェンジの整備の推進及び沖縄市池武当・北中城村喜舎場等のインターチェンジの整備の検討 | 【渋滞協】 ○沖縄県 土木建築部 ○西日本高速道路株 ○関係市町村 | | | 池武当・喜舎場(地域活性化IC)等のICの検討・整備 幸地インター等整備 ●モノレール延長部供用 ●幸地IC供用 | | | | | | |
| | ⑤ ETC(ETC2.0)の普及、利用促進 | ○沖縄局 開発建設部 ○西日本高速道路株 ○沖縄県 企画部 | | 把握 利用者 等調 査実 の 改 善 等 課 題 | 検討内容の実施 (広報資料の作成・配布) | | | | | | |
| | ⑥ 高速道路の利用促進に向けた割引制度の継続・拡充の検討 | ○西日本高速道路株 ○沖縄県 企画部 ○沖縄局 開発建設部 | 沖縄割引 (3.5割引き) 2年間延長 | | 沖縄割引(3.5割引き)2年間延長 高速道路の利用促進に向けた割引制度の継続・拡充の検討 ●空港第2滑走路供用 | | | | | | |
| 物流の分散化 | 7 中城湾港の活用を図り、那覇港との適切な機能分担の推進 | ○沖縄県 土木建築部 | | | 港湾機能強化(大都市圏を結ぶ定期航路の開設に向けた実証実験) | | | | | | |
| | 8 物流センターの整備 | ○那覇港管理組合 | | | 那覇港総合物流センターの整備 ●令和元年5月1日供用 | | | | | | |
| ビッグデータを活用した分析及び対策 | 9 ETC2.0 やOKICA カード等のビッグデータを活用した道路渋滞の分析及び対策 | ○沖縄局 開発建設部 | ETC2.0車載器の設 データ分析・対策検 | | データを活用した対策の実施 | | | | | | |
| 課題 | プロジェクト一覧 ※主要プロジェクトには○ | 【関連委員会】 実施主体(○:主、○:副) | ~H28 現況 | H29 前期 後期 | H30 前期 後期 | H31(R1) 前期 後期 | | R2~ | 備考 | | |
| 1)公共交通の整備・再編 | | | | | | | | | | | |
| モノレールの運用効率化 | ⑩ 運行間隔の短縮(増便)などの混雑対策の推進、車両数増加の検討 | ○沖縄都市モノレール株 ○沖縄県 土木建築部 | 検討 | 増便等の混雑対策検討 増便の実施 (ダイヤ改正H29.8.1日最大34本増便。H30.4.1日最大10本増便) | | | 対策の実施 ※延伸にあわせた見直し ・増便の実施(R1.10.1日最大20本増便) ●モノレール延長供用 全国共通ICカード及び 3両編成車両の導入 | | | | |
| | ⑪ 那覇市・浦添市・宜野湾市・沖縄市・北中城村地域公共交通総合連携計画に基づく基幹バス(BRT等)の導入に向けたバス網再編 | 【県公共交通協】 ○沖縄県 企画部 ○バス事業者 ○沖縄局 運輸部 | | 急行バス実証実験 基幹バス導入の検討 ●浦添北道路・臨港道路浦添線供用 | | | ●基幹急行バス運行開始(令和元年10月) | | | | |
| 基幹バスの導入、バス網再編 | ⑫ 県民及び観光客にとって使いやすくわかりやすいバス待ち環境の改善や、バス網再編の検討 | 【県公共交通協】 ○沖縄県 企画部 ○沖縄局 開発建設部 ○バス事業者 ○沖縄局 運輸部 | | バス網の再編検討(バス事業者との調整) 上屋等のバス待ち環境改善(上屋整備)・(バス停上屋維持管理体制の検討) | | | 段階的なバス網再編実施 段階的なバス網再編実施 | | | | |
| | ⑬ 自動運転技術を活用したバス交通(基幹バス、コミュニティバス等)の活性化を図るための社会実験の実施 | ○沖縄局 開発建設部 ○関係市町村 ○バス事業者 | | 自動走行バス実証実験 第Ⅰステップ 南城市で基本的な技術実証実験 石垣島で社会実証実験 本島内の高度な実証実験 より高度な実証実験 基幹バス等への自動運転技術及び関連技術導入検討 自動運転技術及び関連技術を活用したバスペイ、上屋等の整備(ハイグレードバス停、ロングバスペイの設置) ●沖縄次世代都市交通システム検討会発足 | | | 本格導入 | 本格導入 ●ハイグレードバス停の設置(農林中金前、比嘉西原) 令和元年7月供用 | | | |
| バス運行定時性の確保 | ⑭ 浦添北道路・臨港道路浦添線開通にあわせた、バスレーンの延長の検討 | 【県公共交通協】 ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄県 土木建築部 ○沖縄県 警 ○沖縄県 企画部 ○関係市町村 ○バス事業者 | 久茂地 ~ 伊佐 | (平成27年度から実施)国道58号バスレーン延長 朝夕専用化 朝夕優先検討 効果検証・合意形成 PTPSの車載器導入・運用 ●浦添北道路・臨港道路浦添線供用 | | | 効果検証 | 終日優先化 朝夕優先化 終日専用化 終日優先化or 終日専用化 | | | |
| | 15 都市圏におけるLRT の導入可能性の検討 | ○関係市町村 | | モノレール延伸等整備による効果の検証 | | | LRTの必要性、導入可能性の検討 | | | | |

| | | | | | | | | |
|---------------------------|--|---|---|--|--|---------------|----|-----------|
| | 16 与那原、南風原バイパスの供用に併せたリバーシブルレーン延長の検討 | ◎沖縄局 開発建設部、 ◎沖縄県 土木建築部 ○関係市町村 | | 延長区間の検討 | ●南風原BP供用 | | | |
| | 【関連委員会】 実施主体(◎:主、○:副) | ~H28 現況 | H29 | H30 前期 | H31(R1) 後期 | 前期 | 後期 | R2~ 備考 |
| 1)公共交通の整備・再 | | | | | | | | |
| コミュニティバスの活用 | 17 モノレール、基幹バスの結節点における二次交通の整備 | ◎沖縄県 企画部 ◎バス事業者 ○関係市町村 | モノレールの延伸、基幹バスの導入にあわせた二次交通の検討、事業者調整 | モノレール、基幹バス結節点への二次交通の導入(段階的に導入) ●モノレール延長部供用 ●基幹急行バス運行開始 | | | | |
| | 18 公共交通不便地域へのコミュニティバス、デマンドバス等導入 | ◎関係市町村 ◎バス事業者、タクシー事業者 ○沖縄県 企画部 | 必要性の検討、導入(各地域) | モノレール、基幹バスと連携したコミュニティバス・デマンドバスの導入 ●モノレール延長部供用 ●基幹急行バス運行開始 | | | | |
| 2)交通結節点の整備 | | | | | | | | |
| バスターミナル等の整備 | 19 モノレール結節点(那覇バスターミナル、てだこ浦西駅等)の整備 | ◎旭橋都市再開発(株) ○沖縄都市モノレール(株) ○沖縄県 土木建築部 ○関係市町村 | 旭橋駅結節点整備 てだこ浦西駅の周辺事業(P&R等)整備 移動支援情報提供サービスの検 実証実験等の実施 本格導入に向けた調整 | ●那覇バスターミナル開業 ●モノレール延長部供用 ●P&R駐車場 道の駅等における導入検討 | | | | |
| | 20 基幹バス結節点(コザ等)の整備に向けた検討 | 【県公共交通協】 ◎沖縄県 企画部 ◎関係市町村 ○バス事業者 ○沖縄局 開発建設部 | 整備内容の検討、事業者等との調整(地域、施設規模、運営方法等)・整備(基幹バス導入に合わせ段階的に整備) | ●基幹急行バス運行開始(令和元年10月) 基幹バスの運行に伴う交通結節点の検討 | | | | |
| | 21 商業施設等を活用した交通結節機能創出の検討 | ◎沖縄局 運輸部 ◎民間事業者(商業施設) ○バス事業者 ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄県 企画部 | 調査検討 関係機関調 提供ス実証行 実証実験 本格運用、商業施設への展開 商業施設以外におけるバス運行情報提供実証実験 | | | | | |
| 各地域の結節点の創出に向けた戦略的な展開 | 22 P&R(パーク・アンド・ライド)用駐車場やレンタカー活用できる結節点の整備 | ◎関係市町村 ○民間事業者 ○沖縄県 企画部 | | P & R等の結節点機能検討・整備 商業施設におけるP&R実証実験 | | | | |
| | 23 まちの拠点(公共・公益施設)において路線バス等を利用出来るような結節点機能創出の検討 | ◎関係市町村 ○民間事業者 ○沖縄県 企画部 | | 南城市の新交通拠点(新市役所周辺)の整備H30年3月末予定 その他地域への展開(基幹バス沿線を中心に検討) | | | | |
| | 24 県民の自家用車から公共交通への転換を促すようなインセンティブ等(料金体系から企業の通勤手当まで)の検討 | ◎関係市町村 ○沖縄都市モノレール(株) ○バス事業者 ○民間事業者 ○沖縄局 運輸部 ○沖縄県 企画部 | | インセンティブ施策の検討(沖モノ(株)乗り継ぎ割引実施の用意あり) ●モノレール延長部供用 | インセンティブ施策の導入(モノレールや基幹バス整備にあわせて導入) | | | |
| | 25 結節点への商店の誘致等にぎわいの創出の検討 | ◎関係市町村 ○民間事業者 ○沖縄県 企画部 | | てだこ浦西駅の商店誘致等結節点機能検討 結節点整備 | | | | |
| 高速バス停の整備 | 26 P&R 用駐車場、レンタカー活用拠点及び高速バスを利用しやすい環境整備に向けた検討 | ◎西日本高速道路(株) ○関係市町村 ○沖縄県 企画部 | 整備内容の検討、事業者等との調整(地域、施設規模、運営方法等) | 結節点の整備(導入にあわせ段階的に整備) | ●モノレール延長部供用 ●基幹バス導入 | | | |
| 3)歩行者や自転車等にも優しい道路空間の再編・創出 | | | | | | | | |
| 課題 | プロジェクト一覧 ※主要プロジェクトには【○】 | 【関連委員会】 実施主体(◎:主、○:副) | ~H28 現況 | H29 前期 | H30 後期 | H31(R1) 前期 | 後期 | R2~ 備考 |
| 道路空間の再編(国際通り) | 27 國際通りのトランジットモールの新たな展開、フリンジパーキングの整備、荷さばき車両、違法駐車対策の検討 | 【TDM協】 ◎沖縄県 土木建築部 ○沖縄局 ○民間事業者(商店街振興組合連合会等) ○沖縄県警察本部 ○那覇市 ○バス事業者 ○物流事業者 | 実証実験 実態把握 | 貸し切りバス路上混雑対策実験事業 短期対策の推進 トランジットモール ビジョン(将来像)策定 荷捌き車両対策調査対策検討 実証実験実施計画策定 駐車場の満空情報の導入検討等 県庁前地下駐車場情報試行 レンタカー 洗滌対策 調査対策 検討 実証実験等の実施 信号撤去実証実験(浮島通り他) 効果検証 | 改善策の推進 実証実験実施 対策本格導入 | | | |
| | | | | | | | | |
| 自転車利用の促進 | 28 自転車走行環境の整備 | 【TDM協】 ◎関係市町村 ○沖縄県 土木建築部 ○沖縄局 開発建設部 | | 自転車ネットワーク計画の策定(那覇市(H29策定)、浦添市、宜野湾市、沖縄市、県、国、連絡協議会を設置) | | | | |
| | 29 コミュニティサイクル(レンタサイクル、シェアサイクル)の導入 | 【TDM協】 ◎関係市町村 ○沖縄県 土木建築部、企画部 ○沖縄局 開発建設部 | | モノレール、基幹バス端末への コミュニティサイクル導入検討 C&BRの実証実験 | モノレール、基幹バス結節点の 整備にあわせた導入(段階的に導入) ●モノレール延長部供用 | | | |
| | 30 企業等における自転車利用環境の整備 | ◎民間事業者 ○関係市町村 ○沖縄県 企画部 | | | 沖縄局自転車通勤の導入 民間企業への導入、利用促進 | ●モノレール延長部供用 | | |
| 無電柱化 | 31 自転車や歩行者に快適で安全な通行空間の確保、観光地にふさわしい良好な景観の形成や道路の防災性の向上の観点からの無電柱化 | ◎沖縄局開発建設部 ○沖縄県土木建築部 ○関係市町村 | 無電柱化の整備 無電柱化の整備、低コスト手法検討 | | 新技術等も活用した無電柱化の推進 | | | |

| 課題 | プロジェクト一覧 ※主要プロジェクトには【○】 | 【関連委員会】 実施主体(○:主、○:副) | ~H28 現況 | H29 | H30 | | H31(R1) | | R2~ | 備考 | | |
|------------------------------------|--|--|-------------------|---------------------------|---|----|---|----|--|----|--|--|
| | | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | | |
| 1)使いやすさの向上に向けた情報提供システム等の整備 | | | | | | | | | | | | |
| 利用者向けの利便性向上策 | 32 バスロケーションシステム改良、整備(バス停での表示、スマートフォン用アプリ改善)の推進 | 【県公共交通協】 ○沖縄県 企画部 ○バス事業者 ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄県 土木建築部 ○関係市町村 | | | バスロケーションシステム、多言語公共交通システムの運用、改良 | | ●モノレール 延長部供用 ●空港第2滑走路供用 | | | | | |
| | 33 バスペイの改良及びバス停上屋の整備等、バス待ち環境の改善 | 【県公共交通協】 ○沖縄局 開発建設部 ○バス事業者 ○沖縄県 土木建築部 ○関係市町村 | | | バス停グレードアップ検討、整備(順次) | | 必要に応じて整備(順次) | | | | | |
| ユニバーサルデザインの導入等 | 34 高齢者等の公共交通を利用した外出を促すためのユニバーサルデザインを取り入れた施設整備の推進 | 【県公共交通協】 ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄県 企画部、土木建築部 ○バス事業者 ○関係市町村 | | | 対象施設、割引施策等の検討 | | 本格導入 | | | | | |
| | 35 空港やその他の交通結節点における、移動支援(訪日外国人を含む観光客への情報提供等)の導入に向けた取組 | ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄局 連輸部 ○沖縄県 文化観光スポーツ部 ○民間事業者【那覇BTC(株)】 | ニーズ把握 移動支援情報提供 | 対策検討 実道の駅「豊崎」の実証実験等の実施 | 実証実験等の実施 基幹バス沿線 | | 本格導入に向けた調整 | | | | | |
| 2)ICカード等を活用した公共交通の利用促進に向けた取り組み | | | | | | | | | | | | |
| 公共交通利用促進への活用 | 36 フェリーやコミュニティバス、タクシー等多様な交通機関での利用 | ○沖縄県 企画部 ○沖縄局 連輸部 ○民間交通事業者(モノレール、バス、タクシー、フェリー等) | | | ICカード共通化検討(H29～沖モノ(株)全国共通ICカード片利用の導入検討) | | ICカードの共通化 | | | | | |
| | 37 モノレール及び路線バスにおける乗り継ぎ割引、時間帯割引、全国共通ICカード利用等の公共交通利用のインセンティブを高める仕組みの拡充の検討 | ○沖縄県 企画部 ○沖縄局 連輸部 ○民間交通事業者(モノレール、バス、タクシー、フェリー) | | | ICカードを活用したインセンティブ施策の検討や実証実験等の実施(OKICAWARIの実施) | | ●泊本部間高速船運航開始 インセンティブ施策の導入 | | | | | |
| 地域の活性化への活用 | 38 買物でのポイント活用、社員証・学生証との相互利用など地域活性化への活用の検討 | ○沖縄県 企画部 ○関係市町村 ○民間事業者(商店等) | | | ICカードを活用したインセンティブ施策の検討 | | インセンティブ施策の導入 | | | | | |
| 3)観光客の公共交通活用策 | | | | | | | | | | | | |
| 来訪者向けの自動車利用環境の整備 | 39 外国人にもわかりやすい案内標識整備 | ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄県 土木建築部 ○関係市町村 | | | 順次実施 | | | | | | | |
| | 40 てだこ浦西駅等交通結節点の有効活用 | ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄県 土木建築部 ○関係市町村 ○沖縄都市モルール(株) | | | てだこ浦西駅の周辺事業(P&R等)整備 ●P&R駐車場 | | レンタカー拠点の整備検討(H29～浦添西原線高架橋下空間を活用したレンタカー拠点のマーケティング実施) ●モノレール 延長部供用 | | | | | |
| | 41 外国人が運転するレンタカーの交通事故増加を踏まえたETC2.0等のビッグデータによる外国人の運転特性分析、道路渋滞対策・交通安全対策の実施に向けた取組 | ○沖縄局 開発建設部 | ETC2.0車載器の設置 | データ分析、対策検討 | 特定箇所での社会実験の実施 | | 社会実験を踏まえた対策の検討と実施 | | | | | |
| | 42 駐車場満空情報のカーナビへの提供 | ○沖縄局 開発建設部 | 国営沖縄記念公園駐車場情報を提供 | | 順次拡大 | | 那覇バスターミナル等で導入検討中 駐車場情報試行 | | 駐車場情報の運用 | | | |
| 人の移動支援 | 43 観光地や観光地周辺での案内標識の整備 | ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄県 土木建築部 ○関係市町村 ○民間事業者 | 石垣で8カ所実施 | | 順次拡大 | | | | | | | |
| | 44 Wi-Fi 利用環境の整備、活用 | ○沖縄県 文化観光スポーツ部、企画部 ○沖縄局 開発建設部 ○民間事業者 | 沖縄県 約5,600箇所整備 | | 順次拡大 | | データ活用方法検討 公共交通への導入検討 | | データを活用した対策の実施 導入・拡大 | | | |
| | 45 観光客向けの路線バスの分かりやすい利用方法、活用方策の情報提供 | ○沖縄県 企画部 ○沖縄局 連輸部 ○バス事業者 ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄県 土木建築部 ○関係市町村 | | 実証実験等の実施 イオンモール | バスロケーションシステム、多言語公共交通システムの運用、改良 | | 本格導入に向けた調整 | | ●モノレール 延長部供用 ●空港第2滑走路供用 観光客の移動手段の多様化実証調査 | | | |
| 結節点における観光客向けのサポートサービスや情報発信機能の強化 | 46 那覇バスターミナル等の結節点等における、外国人を含む観光客向けのサポートサービスの提供(例えば「手ぶら観光」の推進)や情報発信機能の強化 | ○沖縄局 開発建設部 ○沖縄局 連輸部 ○沖縄県 文化観光スポーツ部 ○民間事業者 | メインプレイスでの実証実験実施 | | 多言語バス情報発信の検討 | | | | | | | |
| 那覇空港国際線旅客ターミナルと国内線旅客ターミナルの移動利便性の向上 | 47 那覇空港の国際線と国内線の旅客ターミナル間の移動について歩行空間の連続性の確保やバス・タクシーへの乗り継ぎ利便性の改善の取組 | ○沖縄局 開発建設部 ○大阪航空局 空港部 ○民間事業者 | | | ターミナル・構内道路整備 | | ●空港第2滑走路供用 | | 那覇空港国際線ターミナル地域再編事業 | | | |

| | | | | | | |
|----------------|---|--|-------|----------------------|-----|--|
| クルーズ船の観光客の渋滞対策 | 48 クルーズターミナルから観光地にかけての標識案内設置等による歩行動線整備の検討 | ◎沖縄局 開発建設部 ◎沖縄県 土木建築部 ◎那覇港管理組合 ◎民間事業者 | 現状の把握 | 必要に応じ対策の実施・モニタリング・改善 | →→→ | |
| | 49 クルーズ船来港に伴う渋滞対策 | ◎沖縄局 開発建設部 ◎沖縄局 運輸部 ◎沖縄県 文化観光スポーツ部 ◎沖縄県 企画部 ◎沖縄県 土木建築部 ◎那覇港管理組合 ◎民間事業者 | 現状の把握 | 必要に応じ対策の実施・モニタリング・改善 | →→→ | |

| 課題 | プロジェクト一覧 ※主要プロジェクトには【○】 | 【関連委員会】 実施主体(○:主、○:副) | ~H28 | H29 | H30 | H31(R1) | R2~ | 備考 |
|----|----------------------------|--------------------------|------|-----|-----|---------|-----|----|
| | | | 現況 | | 前期 | 後期 | | |

4) 民間企業、県民を主体とした賢い道路利用

| | | | | | | |
|----------------|-----------------------------------|--|--------------------------------------|---|-----|--|
| 県民意識への効果的な働きかけ | 50 県民の意識に働きかける取組み(わったーバス党の活用、MM等) | 【TDM協】 ◎沖縄県 企画部 ◎沖縄局 ◎関係市町村 ◎バス事業者 ◎民間事業者 | 公共交通利用促進広報活動実施 ノーマイカーデー、カーフリー等の実施 | 「わったーバス党」広報媒体を活用した県民意識への働きかけ取組強化(SNSを活用した情報発信等) わったーバス大実験 実施内容検討・実験実施・結果分析 学生向け路線バス利用促進実験調査 商業施設と連携した公共交通利用促進実験 | →→→ | |
| | 51 民間企業の取組み支援(わったーバス党の活用等) | 【TDM協】 ◎沖縄県 企画部 ◎沖縄局 ◎関係市町村 ◎バス事業者 ◎民間事業者 | 公共交通利用促進広報活動実施 | 「わったーバス党」広報媒体を活用した民間企業のPR等取組強化(渋滞緩和に資する民間企業の取り組み紹介等) | →→→ | |
| | 52 協力企業の取組みに対する表彰制度の創出の検討 | ◎沖縄局 開発建設部 ◎沖縄県 企画部 ◎関係市町村 | 表彰等制度の検討(ニーズ調査、制度の | 表彰制度の導入、拡充 | →→→ | |

| | | | | | | |
|--------------------|--------------------------|--|------------------------|---|-----|--|
| 時空間的な需要分散、平準化(TDM) | 53 国、県、市町村、民間企業への時差出勤の導入 | 【TDM協】 ◎沖縄県 総務部 ◎沖縄県 企画部 ◎沖縄局 総務部 ◎関係市町村 ◎民間事業者 | 中総局(開建、運輸) 沖縄局全庁に導入 | 沖縄県、那覇市(民間企業へ順次拡大) 他市町村への導入検討 他市町村への導入 | →→→ | |
| | 54 バス専用レーンのHOV 運用の検討 | ◎沖縄県 企画部 ◎沖縄局 開発建設部 ◎沖縄県警本部 ◎バス事業者 | | 導入に際しての課題の把握、導入に向けた箇所選定、調整等 HOVレーンの試行実験の導入及び本格実施に向けた調整 | →→→ | |

| 課題 | プロジェクト一覧 ※主要プロジェクトには【○】 | 【関連委員会】 実施主体(○:主、○:副) | ~H28 | H29 | H30 | H31(R1) | R2~ | 備考 |
|---------------------------|---|--|---|---|------------------------------|---------------------|-----|------|
| | | | 現況 | | 前期 | 後期 | | |
| 道路整備やまちづくり計画と連携した公共交通網の再編 | 55 各市町村において中長期的な道路ネットワーク整備やコンパクトなまちづくりと連携して、各地域の居住者が自家用車のみに依存せず、公共交通を利用して広域に移動することが可能となるような公共交通ネットワークの見直し、再整備 | ◎関係市町村 ◎バス事業者 ◎沖縄県 企画部 ◎沖縄局 運輸部 | 地域公共交通網形成計画等の作成(各市町村) ※H28南城市作成、H29沖縄市作成等 ※H29年度与那原町地域交通戦略策定済、現時点で交通網形成計画策定については未定 ※那覇市(R1前期～R2後期) | →→→ | | | | |
| | 56 その際、行政界及びその付近において公共交通における利便性が低下しない広域的な調整・連携 | ◎関係市町村 ◎バス事業者 ◎沖縄県 企画部 ◎沖縄局 運輸部 | | | ↓ | | | 広域調整 |
| 災害への対応 | 57 観光客への災害情報提供、誘導情報提供の検討 | ◎沖縄局 開発建設部 ◎沖縄県 土木建築部 ◎関係市町村 ◎民間事業者 | 啓開計画の策定 | 道路啓開計画の運用における担当等の協議、調整 情報提供、施設整備等の実施 | | | | |
| | 58 大規模災害時における道路啓開計画の策定 | ◎沖縄局 開発建設部 ◎沖縄県 土木建築部 ◎関係市町村 ◎民間事業者 | 道路啓開計画の運用における担当等の協議、調整 情報提供、施設整備等の実施 | | | | | |
| | 59 沖縄の災害特性に応じた道路・港湾等の交通施設及び物流施設の耐災害性の向上対策 | ◎沖縄局 開発建設部 ◎沖縄県 土木建築部 ◎関係市町村 ◎民間事業者 | 道路啓開計画の運用における担当等の協議、調整 情報提供、施設整備等の実施 | | | | | |
| 観光地にふさわしい景観形成 | 60 空港周辺、観光地への誘導ルートの景観形成、緑化 | ◎沖縄局 開発建設部 ◎沖縄県 土木建築部 ◎関係市町村 ◎民間事業者 | 順次実施 | モデル地区での緑化の試験施工 | モデル地区での緑化試験施工の検証、新たな地区での試験施工 | モデル地区の拡大検討、試験施工結果検証 | →→→ | |

| 課題 | プロジェクト一覧 ※主要プロジェクトには【○】 | 【関連委員会】 実施主体(○:主、○:副) | ~H28 | H29 | H30 | H31(R1) | R2~ | 備考 |
|-------------|---|--|-----------------|-----------------|-------------------|-------------------|------|---|
| | | | 現況 | | 前期 | 後期 | | |
| 生活道路の交通安全対策 | 61 生活道路の交通安全対策 | ◎関係市町村 ◎沖縄局 開発建設部 ◎沖縄県 土木建築部 ◎関係市町村 | 対策検討 モデル地区選定 | 対策検討 モデル地区選定 | 施策の実施 | | 順次拡大 | H30.2.8「生活道路の交通安全対策に関する講演会・テーブルミーティング」を実施 |
| | 62 幼稚園・小学校世代からの自転車や公共交通機関の利用方法等の交通安全等教育 | ◎関係市町村(教育委員会) ◎沖縄県警本部 ◎県教育委員会保健体育課 | | | バスレーン延長ルート沿線の調査検討 | 宜野湾市大山地区において施策の実施 | | |